

宮陵会報

Kyuu-Ryo

2011.7

No.92

発行責任者
社団法人 宮 陵 会
広報委員会

〒221-0802
横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学内
TEL 045-481-5661
(内線 2451~3)
FAX 045-413-0791
印刷所 株式会社 江森印刷所

いろいろ学べる 夏の講座!

KUポートスクエア (生涯学習の夏)

1929年、本学の前身横浜専門学校が開校した直後、横浜市民のために「横浜夏期大学」を開講したことから神奈川大学の生涯学習事業の歴史は始まりました。以来、横浜や湘南ひらつかキャンパスでの公開講座、文化講演会、シンポジウムなど地域社会への知の公開を進め、2004年には横浜みなとみらい地区に神奈川大学みなとみらいエクステンションセンター<KUポートスクエア>を設置し、「開かれた大学」として機能の充実をはかりました。経済・経営、資格、語学、文化・教養など多彩な分野で幅広い年齢層に対応したカリキュラムが用意され、KUポートスクエアだけでも年間3,000名を超える受講生が受講しています。卒業生には割引制度もあり、生涯学習の場として多くの卒業生に利用されています。



5番出口から徒歩3秒



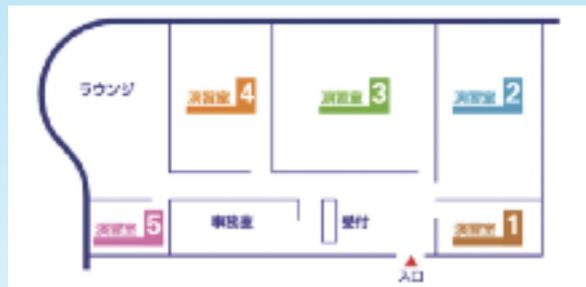
クイーンズタワーAの14階



快適なラウンジ



雄大な風景



Contents No.92

平成23年度第1回代議員会・通常総会開催…2
宮陵会新役員の抱負 ……3
平成23年度事業計画・予算 ……6
本部だより/支部だより ……7



平成23年度 第1回代議員会・通常総会を開催!! (宮陵会新役員を選任)

平成23年5月21日(土) 本学16号館で新年度第1回代議員会及び通常総会が開催されました。代議員会の議案は、平成22年度収支決算報告に関する件、平成23年度補正予算に関する件、社団法人宮陵会役員候補者選任規程の改正に関する件、役員を選任に関する件が上程され、いずれも可決しました。続いて行われた平成23年度通常総会は、平成22年度収支決算報告に関する件、平成23年度事業計画及び収支予算に関する件、代議員の承認に関する件、社団法人宮陵会役員候補者選任規程の改正に関する件、法人の移行申請の方向性に関する件、役員承認の結果、いずれも可決・承認されました。総会開会前には、岩手県・宮城県等、東日本大震災で被災された東北地区の支部長の方々から被災地の厳しい現状報告がありました。宮陵会からの見舞いへの謝辞、そして再興に向け今も大変ご苦労されている本学OBの福島県佐藤雄平知事、岩手県遠野市本田敏秋市長、宮城県石巻市亀山紘市長、福島県棚倉町藤田幸治町長に会員の皆さんから激励のメッセージを届けてほしいという要望がありました。

■22年度事業報告・収支決算報告

例年と大きく違った個所は、震災の影響で卒業式が中止となったことで、祝賀会や卒業記念品代が未執行となりました。また被災見舞金として支部活動助成費(組織費)から11支部へ260万円を支出しました。会報等発送費では、住所把握者の減による郵送費の削減等で66.5万円が減額となりました。増額は、事務体制確保のため1名増員による委託費の増がありました。事業費で金額の大きなものは、△米田吉盛教育奨学金基金への寄付(1,000万円)、△奨学金の給付(2,300万円)などが挙げられます。

■23年度補正予算

補正予算の主なものは、東日本大震災による罹災学生への支援寄付金の計上で、流動資産から取り崩しをしました(1,000万円)。

■法人の移行申請の方向性に関する件

公益法人制度改革により平成25年11月までに民法法人(宮陵会)は公益法人か一般法人に

移行しなければなりません。

本会は、移行に当たり、法人格等検討特別委員会を設け、その答申を受けて、今年2月の代議員会で、一般社団法人に移行する方向に決まりました。一般社団法人を選択した理由は、①公益社団法人に必要とされる公益目的事業比率50%を継続して達成できないこと②本会は、収益事業を行っていないため、税制面で不利益がないこと③一般社団法人移行に保有する資産は、公益のための事業に使う必要があり、従来からの在学生に対する奨学金の給付・貸与事業、本学の教育・研究の振興の特定給付事業等が一般社団法人の性格に適合すること等、以上のことを踏まえ、一般社団法人への移行をすすめることになりました。今後のスケジュールは、広く意見を聞きながら、さらに検討し、来年(平成24年)の総会で正式決定する予定になっています。

■役員を選任に関する件

宮陵会役員の変更があり、副会長、専務理

会議の質問と答弁

質問 宮陵会から大学へ罹災学生支援の1千万円の寄付は議案書でわかりませんが、宮陵会員への支援は。

答弁 会員への支援策については、全員がの現状把握ができた次第、今後の理事会で検討していく考えです。

質問 2年前から支部の掘り起こしを進めていく計画があったが、その後支部設立はできたのか。

答弁 特に地元である横浜市の区単位の支部の再建・設立に努めてきました。その結果、新たにいくつかの支部が誕生しました。

質問 支部の設立要件の中で、会員の人数に潜在会員(会費未納者)も含まれるのか。

答弁 卒業生はすべて会員です。

事、理事の一部が変わりました(3頁の表参照)。

会長は狩野七郎氏(再任)で、副会長は宇野峰雪・小川勲夫・平能孝一の各氏が新たに選任されました。任期は2年。

前副会長の新井三夫・秋田琢次の両氏は、退任し名誉役員(参与)になりました。また、武笠健次副会長は代議員会議長に就任。同議長の磯邊晃氏は退任し名誉役員(参与)になりました。

■23年度事業計画及び収支予算

主な事業で前年と違うものは、補正予算で組み込んだ罹災学生への支援のための寄付(1,000万円)。全国支部長会議の開催(400万円)等があります(事業と予算は6頁に掲載されています)。

宮陵会 新役員 の 抱負



会長就任のご挨拶
狩野 七郎

このたびの東日本大震災において罹災された皆様からお見舞い申し上げます。

平成23年度通常総会において会長に再任されました。大変光栄なことで、ここに謹んでご報告申し上げます。今回選任されました、副会長、専務理事を始め役員の皆様の協力を頂き、開かれた風通しのよい会務執行をモットーに行っていく所存です。この任期中の大きな事業としましては、通常総会にてご承認を頂きました、一般社団法人への移行を成し遂げることであります。今後、定款の変更等の検討を行い、一般社団法人として認可を受け、あたらしい一般社団法人としてスタートしたいと考えております。

また、宮陵会の主目的であります、神奈川大学の進展と維持に必要な援助につきましては、尚一層の充実を図りたいと思っております、会員各位の建設的なお声を是非お寄せ頂きます様よろしくお願い申し上げます。



副会長に就任して
宇野 峰雪

副会長に就任して、6月に大阪支部、群馬東毛支部の総会に出席させていただきました。

両支部とも活発な活動をされていて、宮陵会はこうした支部の活動の積み重ねでつくら

れていると感じました。

退任された役員の方々のご奮闘を思い、他の役員と力を合わせて会長を補佐し、宮陵会と神奈川大学の進展と会員の皆さまに役立つよう活動したいと思っております。よろしくお願ひ申し上げます。



副会長に就任して
小川 勲夫

この度、副会長に就任致しました小川です。

永年に亘り理事、広報委員長、専務理事を務め、宮陵会の維持・発展に裏方として努力して参りました。年齢から引退と考えておりましたが、法人格移行に伴う諸準備の為、今一度汗をかけたの、会員諸氏の意思を受け止め、お引き受け致しました。諸氏のご指導、ご鞭撻を賜り、新しい宮陵会に向け努力致す所存です。



副会長に就任して
平能 孝一

本会との関わりは、昭和55年当時、広報委員として諸先輩の原稿の整理・校正にはじまったと記憶しております。寄稿される文章の端々に母校への熱い想いが記されていることに心打たれたことがしばしばありました。その後、準会員委員長として学生のための催し物を企画・実施し、参加学生の喜びを感じたこともありました。縁があり本会の専務

理事として三期六年を勤め、このたび副会長の役を勤めさせていただくことになりました。これまでの経験をもとに会の運営に務めてまいりますので、よろしくお願ひいたします。

平成23年度通常総会で表彰を受けた方々

功労表彰表彰規程第2条第2号該当

◆支部関係

- 寺田幹夫氏 昭和39年工学部電気工学科卒業
- 元群馬東毛支部支部長
- 遠山詠一氏 昭和31年法経学部経済学科卒業
- 元静岡西部支部支部長

- 松下武志氏 昭和29年法経学部経済学科卒業
- 元佐賀支部支部長・副支部長
- 森光俊夫氏 昭和38年法経学部貿易学科卒業
- 元高知支部支部長

◆支部関係

- 小林保博氏 昭和37年工学部電気工学科卒業
- 元宮城支部支部長・理事・幹事長
- 大窪忠頼氏 昭和39年法経学部経済学科卒業
- 元苫小牧支部支部長
- 横山武典氏 昭和33年法経学部経済学科卒業
- 元熊本支部天草地区長
- 石谷 連氏 昭和37年工学部工業経営学科卒業
- 元神奈川大学ラクビー部OB会
- 支部副支部長・幹事

役員・代議員会正副議長・委員長 (平成23・24年度)

会 長	30経	狩野 七郎	平22経博前	監 事	43賢	三縄 昭男
副 会 長	37法	宇野 峰雪 (新)		監 事	45経	今田 正紀 (新)
副 会 長	37機	小川 勲夫				平16経博前
副 会 長	48賢	平能 孝一		監 事	53法修	三宮 政俊
専務理事	43賢	宇久田進治				(再任2名 新任1名)
専務理事	44経	大場 憲治		代議員会議長	41法	武笠 健次 (新)
専務理事	56経	佐藤 武 (新)		代議員会副議長	35経	大澤 武法
理 事	34法	西森 秀明				(再任1名 新任1名)
理 事	34経	重松 峰雄		常任委員長		
理 事	39法	北野 紘一		財 政	45賢	会田 彰 (新)
理 事	40経	古川 勝彦 (新)		組 織	56経	原田 浩行
理 事	40応化	吉村 蒔子		広 報	44経	間中 晟 (新)
理 事	41法	橋本 正俊		準 会 員	59賢	村川 浩幸
理 事	44経	間中 晟		婦 人 部	59経	大塚 順子 (新)
理 事	45賢	会田 彰 (新)		体育振興	60英	手塚 正
理 事	45建	山本 俊雄 (新)				(再任3名 新任3名)
理 事	50法	和田 敏光 (新)				
理 事	51機	内藤 正久				
理 事	58賢	永田 晴彦 (新)				
理 事	59経	大塚 順子 (新)				
		(再任12名 新任8名)				

今年度は、当初から東日本大震災のために、入学式の中止や大震災への対応で、大変慌しいものになりました。

今、日本で一番大事なことは、直接の被災地を除く地域が、被災地の惨状にあわせて様々な取り組みを「自粛」するのではなく、可能な限り平常の業務、生活を送ることだと考えております。授業の開始を予定通り実施したのもそういう観点からで、今、振り返ってみますと、その判断は正しかったように思います。

本学で言えば、百周年に向けての「将来構想」、その具現化のための「中期実行計画2010-2015」を遅滞なく実践することだと思っています。

まず、①「教育の質の向上」という点では、昨年度、各学部・学科、各研究科・専攻レベルで「基本方針(3つのポリシー)」が策定されました。今後、これに基づいて、大学教育の「質の保証」を不断に実践していくことが求められています。また、これに関連して、本年度より「教育貢献表彰制度」が動き出しますが、この制度が教育の質の向上に大きくつながることを期待しています。今年度の課題としては、「教養教育」の方針策定が横倉副学長のもとで検討されていますし、「教育支援センター」(仮称)の設置についても規程案の検討が始まる予定です。

②「理学部・工学部の再編」も、

「中期実行計画」の実践と震災対応 この二つの課題に全力をあげて取り組みます

学長 中島三千男



両学部間の教員の移籍、学生定員の移動を前提として、工学部に経営工学科と総合工学プログラム、理学部に数理・物理学科を新設するなどの「理学部・工学部再構築」案が全学で承認されました。文部科学省への届け出も済ませ、来年度実施に向けて着々と準備を進めているところで、今後は、この新しい両学部が狙い通りの実績をあげることができるよう全力をあげるとともに、次なる改革、すなわち、認証評価に対応する改革、さらには次の大きな全学的学部再編に向けた準備に入る予定です。

③「国際交流の拡充」については、「国際センター」を設置し、この4月から動き出しております。個別には昨年度あらたに4つの大学と交流協定が結ばれ、今年度は海外からの交換留学生在が昨年度の8人から2倍をこす17人に増える予定です。また、一般の留学生も昨年の2倍になる72名の新入生が入り、交換留学生、国費留学生を含めて、本年度は200名の留学生在が在籍することになります。なお、近い将来には、とりあえず全学の学生の3%、500名余の留學生を迎えたいと思っています。

この他、一つだけ付け加えますと、昨年度の入試において、志願者を2年連続増やすことができ、3年ぶりに3万人台を回復させたことも大きなことでした。

さて、今年度は、この「中期実行計画2010-2015」の実践とともに、東日本大震災の対応も重要な取り組みになります。本場に幸運なことには在學生に1人も犠牲者を出さずに済みましたが、多くの在學生が何らかの被害を蒙っています。両親、家族が亡くなられたり、行方不明のままというケースが5件あります。また家屋全壊20軒を含めて300軒が被害を蒙っています。こうした、被災學生に対して授業での特別な配慮をし、また経済的支援については、直ちに「東日本大震災學生支援室」を立ちあげ授業料の減免などの処置をとるようにしました。4月20日現在300余名の學生が相談に訪れました。また、義援金の募金活動についても募金箱を学内の数ヶ所に設置すると共に、専用の振込み口座を開設しました。なお、卒業祝賀会中止に伴う、650万円余の経費を本学の卒業生が知事、市長等を助めている福島県、石巻市、遠野市、棚倉町に対して、それぞれ学長、副学長等が出向きお見舞金として手渡しました。

さらに、今回の大震災は「3・11」あるいは「FUKUSIMA DAICHI」と世界の注目を集め、人間社会と自然の関係、人間社会と科学技術の関係を問い直す、あるいは人間社会が近代以降追い求めてきた「豊かさ」の質を問うものとして、文明的転換点になるだろうと予測して

います。そうした意味を持つ、今回の大震災を、単にインターネットやテレビ画像で世界の人々と同じように間接的に体験するのではなく、日本の學生が、直接被災地に出かけて自分の眼で見、自分の耳で聞き、自分の肌で感じることは、文系・理系を問わず大学4年間の学びの上で、また、その學生が社会人として世界で活躍する上で大きな意味を持つものであると思います。その意味で、多くの學生を被災地に「ボランティア」として送り込むことについて、学長として全教員に特別な配慮をお願いしました。組織的にも石積副学長をトップとする支援チームを立ち上げ、また教職員・學生のボランティアを体系的にコーディネートする「東日本大震災被災地支援室」も立ち上げました。

また、震災対応という点では、夏の電力不足、節電に向けて、授業や前期定期試験をどのようにするのかもあらゆる可能性を含めて検討し、状況が変化する中で対応しております。

「中期実行計画」の実践と震災対応、この二つの課題に全力をあげて取り組み、本学の発展と震災復興・日本社会の新しいスキームづくりに大きく貢献したいと思っています。

〔学園ニュースかながわ〕
第105号、2011年5月20日、
より一部省略して転載)

全日本大学駅伝対校選手権大会 「関東地区予選会」健闘及ばず9位に

2011年6月25日(土)に国立霞ヶ丘競技場において、第43回全日本大学駅伝対校選手権大会の、関東地区予選会が行われた。

この選考会は、各校8名の選手が2名ずつ4組に分かれて10000mを走り、総合タイムで上位6校を決定する大会だ。

箱根駅伝予選会を占う上で、大変重要なレース、応援にも自然と力が入る。

当日は、中島学長、大学職員、体育振興委員会、宮陵会会員と多数応援に駆けつけた。

いつも感じる、神大の応援は、熱心でモラルも高い。

緊張と興奮の中、レースが始まった。1組終了時点で、チーム総合10位。ボーダーラインの6位までは20秒差、2組以降での巻き返しを願う。

2組目終了時点でチーム総合9位、3組終了時点で総合8位、6位との差は依然22秒。

各校のエースがそろって4組目、追い上げれば、通過出来る。神大応援団は一丸となり、選手に声が枯れるまで応援した。後半、坪内選手は11位と順位をあげ、粘り強い走りを展開。小嶋選手は苦しみながらも息を吹き返し、集団からこぼれる選手を必死で追いかけた。各校のエースが集まる最終組で、堂々と渡り合う選手を見て、感動し胸が詰まった。昨年は、勝負にならなかった組のレースだ。今年の箱根2区で苦戦する坪内選手を見ている私は、リベンジの力走に感極まった。各校のエースとも互角の戦いだ。

結果は、8名の合計タイムが4時間00分10秒54で総合9位と、わずかに22秒届かず。

青学、帝京、城西、中央、日体、上武の6校が予選通過した。

村松ヘッドコーチが言われる1秒の大切さ、重みを感じた。予選通過には手が届かなかったが、坪内選手の大幅なベスト記録の更新、小堀選手の転倒後の必死の走りを見ると、神大復活の兆しを感じた。昨年は予選8位、本年は9位だったが総合タイムは約5分も縮まり、上位校との差を大幅に詰める事が出来た。

何よりもしっかり、練習ができていて、戦う姿勢も良いと感じた。選手は健闘した。こういった厳しい戦いを繰り返して、強くなって行くのだろう。勝負はこれからだ。スポーツは、敗戦から学ぶ事が多くある。箱根駅伝予選会は、今まで以上の激戦が予想される。このレースから学びとり、夏合宿を通して走力を上げ、総合力で箱根のキップを勝ち取って欲しい。

(58年貿易卒 永田 晴彦)

KU

東北ボランティア駅伝 (途中経過)

2011年4月18日(月)、横浜キャンパス21号館2階(マクドナルド2階奥)・湘南ひらつかキャンパス11号館1階平塚学生課に「東日本大震災被災地支援室」が開室した。



現地でのボランティア活動

現在、「KU東北ボランティア駅伝」と称し、ゼミナール単位やクラブ・サークル・個人等で参加する学生や教職員を始めとする大学関係者が岩手県遠野市総務部沿岸被災地後方支援室との連携により支援活動を行っている。毎週2便、横浜駅・平塚駅からバスで現地に出発し、3日～5日のスケジュール内で①物資センターにおける支援物資仕分け・配布作業、②本部における書類整理補助(PC入力作業等)、③避難所での活動補助等の作業を行う中で、参加者達は支援メンバーとして現地の人達に必要な存在となってきた。6月末迄の間にこの支援室から学生288名、OB2名、教職員24名が送り出されており、引き続き活動を行っていく予定である。



また、今後は学生の保護者の参加も予定されているため、これを機に神奈川大学全体の被災地に対する復興への想いを支援活動として届けていきたい。

OB・OG参加者募集

<http://ku-disastersupport.jp/news/2011/05/13/232>

※詳細については、各キャンパス支援室までお問い合わせください。

横浜キャンパス

TEL045-481-5661

(内線3524)

湘南ひらつかキャンパス

TEL0463-5914111

(内線3030)

最近の新聞記事より

いわき民報 23・5・13掲載

成田秀之さん

(元神奈川大学職員・会員)

高野山真言宗福聚院住職

5月10～12日 いわき市内の避難所で有志の方々4トントラック1台分の支援物資共々炊き出しを行った。普段から交流のある地元冷泉寺、金光寺の協力を得て救援活動を展開した。

平成23年度
事業計画・予算

1. 神奈川大学の進展と維持に必要な援助
 - (1) 大学公開講座の協賛(200万円)
 - (2) ホームカミングデーの協賛(300万円)
 - (3) 「神大スポーツ・文化振興会」賛助金募集
 - (4) 奨学金の給付及び貸与(2,300万円)
 - ① 給付奨学金
 - ② 特別給付奨学金(課外活動支援特別給付金)
 - ③ 特定給付奨学金(課外活動特別給付金)
 - ④ 貸与奨学金
 - (5) クラブ活動等援助及び講演会・スポーツ大会等の開催、体育の振興(1,175万円)
 - (6) 卒業祝賀行事の共催(300万円)
 - (7) 新入生へ記念品の贈呈(81万円)
 - (8) 学校法人神奈川大学「米田吉盛教育奨学金」募金への寄付(1,000万円)
 - (9) 神奈川大学へ東日本大震災罹災学生支援のための寄付(1,000万円)
 - (10) 学校法人神奈川大学総務部校友課への協力
2. 会員相互の連携強化、その他本会の目的達成に付随する事項
 - (1) 法人格の検討
 - (2) 財政基盤の確立 会費納入の促進
 - (3) 組織の拡充ブロック(ブロック会、支部との連携並びにブロック会、支部の設立再建支援)(1,300万円)
 - ① 支部連携祝金、旅費、通信費
 - ② 支部助成金
 - ③ ブロック会議費
 - ④ 支部設立再建支援
 - (4) 全国支部長会議の開催(409万円)
 - (5) 会誌・会報の発行(3,334万円)
 - (6) 「神奈川大校友会VISAカード」の入会促進及び提携店拡大
 - (7) その他の目的達成に必要な事業

平成22年度 貸借対照表総括表

平成23年3月31日現在

(単位：円)

科 目	一般会計	奨学金運用特別会計	合 計	科 目	一般会計	奨学金運用特別会計	合 計
I 資産の部				II 負債の部			
1. 流動資産				1. 流動負債			
現 金	273,334	0	273,334	預 り 金	291,456	5,000	296,456
普 通 預 金	14,809,074	32,488,733	47,297,807	前 受 金	135,000	0	135,000
振 替 貯 金	251,000	50,000	301,000	流 動 負 債 合 計	426,456	5,000	431,456
定 期 預 金	55,000,000	57,000,000	112,000,000	負 債 合 計	426,456	5,000	431,456
貸 付 金	0	41,846,250	41,846,250				
流 動 資 産 合 計	70,333,408	131,384,983	201,718,391	III 正味財産の部			
2. 固定資産				1. 指定正味財産			
(1) 基本財産				指定正味財産合計	0	0	0
定 期 預 金	3,000,000	0	3,000,000	(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
基本財産合計	3,000,000	0	3,000,000	(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(2) 特定資産				2. 一般正味財産	309,674,821	131,379,983	441,054,804
定 期 預 金	126,759,524	0	126,759,524	(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(0)	(3,000,000)
有 価 証 券	109,998,345	0	109,998,345	(うち特定資産への充当額)	(236,767,869)	(0)	(236,767,869)
出 資 金	10,000	0	10,000	正 味 財 産 合 計	309,674,821	131,379,983	441,054,804
特定資産合計	236,767,869	0	236,767,869	負債及び正味財産合計	310,101,277	131,384,983	441,486,260
固定資産合計	239,767,869	0	239,767,869				
資 産 合 計	310,101,277	131,384,983	441,486,260				

正味財産増減計算書総括表

平成22年4月1日から平成23年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	奨学金運用特別会計	合 計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
経 常 収 益 計	122,368,207	55,199,370	177,567,577
経 常 費 用 計	111,707,692	22,233,000	133,935,692
当 期 経 常 増 減 額	10,665,515	32,966,370	43,631,885
2. 経常外増減の部			
経 常 外 収 益 計	0	0	0
経 常 外 費 用 計	30,000,000	2,845,840	32,845,840
当 期 経 常 外 増 減 額	△30,000,000	△2,845,840	△32,845,840
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△19,334,485	30,120,530	10,786,045
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	329,009,306	101,259,453	430,268,759
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	309,674,821	131,379,983	441,054,804
II 指定正味財産増減の部			
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	309,674,821	131,379,983	441,054,804

平成23年度 収支補正予算書総括表

平成23年4月1日から平成24年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	奨学金運用特別会計	合 計
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
事 業 活 動 収 入 計	106,239,000	49,030,000	155,269,000
2. 事業活動支出			
事 業 活 動 支 出 計	148,501,000	40,000,000	188,501,000
事 業 活 動 収 支 差 額	△42,262,000	9,030,000	△33,232,000
II 投資活動収支の部			
投 資 活 動 収 入 計	40,000,000	21,000,000	61,000,000
投 資 活 動 支 出 計	30,232,000	0	30,232,000
投 資 活 動 収 支 差 額	9,768,000	21,000,000	30,768,000
III 予備費支出	37,412,952	0	37,412,952
貸 付 金 充 当	0	161,409,983	161,409,983
合 計	37,412,952	161,409,983	198,822,935
当 期 収 支 差 額	△69,906,952	△131,379,983	△201,286,935
前 期 繰 越 収 支 差 額	69,906,952	131,379,983	201,286,935
次 期 繰 越 収 支 差 額	0	0	0

※要旨のみ掲載しております。詳細は宮陵会ホームページをご覧ください。

人と人がつながる企画

Change JINDAI! 2011 開催される

昨年9月に引き続き、「Change JINDAI! 2011」が6月26日(日)に開催されました。「Change JINDAI! 2011」とは、神奈川大学公認ボランティア団体「GLOBAL★YEN★LEAP」の主催により、参加者が神奈川大学横浜キャンパス構内を含む大学近辺の3つのエリアを、それぞれ6人程度の班に分かれて、クイズやミッションをクリアしながら清掃活動を行う、ミッション型ごみ拾いイベントのことを言います。大学生や我々社会人のマナー向上や地域貢献はもちろん、参加者それぞれが班活動を通して人と人との出会いやつながりを大切にしたい

という趣旨のもと、当日は、学内外から240名が参加し、清掃活動や参加者同士の交流を楽しみました。閉会式では、実行委員長の友定 仁さん(経済学科・3年次)から「昨年を大幅に上回る参加者が神大に足を運んでくれて感謝している。また、このイベントに参加した皆さんにとって新たな出会いの場となったと感じられる事が素直にうれしい。」との挨拶がありました。

人間関係の希薄さが問題視される現代、神大生が主体となって人と人との出会いやつながりについて考えさせられるイベントに是非、来年は参加してみませんか?



▶参加者の集合写真

▶昨年の約2.5倍となる270kgのゴミが集められた



本部だより

■会議予定等

- 9月27日(火) 本部理事会
- 10月15日(土) 全国支部長会議
- 10月16日(日) 第17回ホームカミングデー(予定)
- 12月1日(木) 本部理事会

■新支部紹介

・社労士会支部
 社会保険労務士で活躍されている会員の方々と、宮陵会の支部として宮陵会社労士会支部が7月2日に14名の参加を得て結成されました。今後参加を希望される方は、本部までご連絡ください。

・大連支部設立

中国の大連で活躍の会員の方々と、大連支部の設立が準備されています。

・岐阜支部再建総会

しばらく活動を休止していましたが、9月11日に再建支部総会が開催されます。

■新支部長紹介

神大レスリング部OB会支部

珊瑚の会支部	42 賀 泉	勝彦
高知支部	35 経 立浪	法信
保土ヶ谷・旭区支部	45 法 尾崎	祐正
日立製作所厚木支部	39 経 山下	力
	55 法 今井	利夫

■訃報

謹んでお悔やみ申し上げます。

能見 尚殿(34法)平成23年6月11日(ご逝去)

前理事・代議員

馬場 当殿(23法)平成23年6月29日(ご逝去)

映画「復讐するは我にあり」で日本アカ

デミー賞最優秀脚本受賞

(23.7.1 東京新聞)

■春の叙勲

旭日中綬章を受章

大田 哲哉氏(38電気)

前広島県支部長・広島電鉄会長「路面電車ルネッサンス」を掲げ、広島で次世代路面電車を用いた交通システム(LRT=軽量軌道交通)を実現したことを評価されての受章。

支部だより

◆今後の支部総会開催予定

- 8月27日(土) 因幡支部総会
- 9月10日(土) 旭川支部総会
- 9月11日(日) 岐阜支部総会
- 9月17日(土) 北陸ブロック会議
- 9月23日(金・祝) 福井支部総会
- 10月2日(日) 静岡西部支部総会
- 11月5日(土) 奈良支部総会
- 東北ブロック会議
- 山形県支部総会

◆お問い合わせは宮陵会事務局まで

TEL 045-481-5661
 (内2451)
 FAX 045-413-0791

お詫びと訂正

会誌「NO.60」21頁「三浦半島支部新年会と新春講演」に誤りがありました。深くお詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

●(正) 三輪医院(横須賀市)

●(誤) 箕輪医院(横須賀市)

●(正) 千場氏の講演

●(誤) 千葉氏の講演

平成23年度
スポーツ課外活動支援特別奨学生採用者

平成23年度

スポーツ課外活動支援特別奨学生が決定しました。

■硬式野球部

経済学部経済学科 稲垣 拓朗
人間科学部人間科学科 吉原 一輝

■陸上競技部

経済学部経済学科 渡邊 大晃
人間科学部人間科学科 井上 雄介

ホームカミングデーのご案内

●日 時● (予定)

平成23年10月16日(日)

●場 所● (予定)

神奈川大学横浜キャンパス体育館



◀ 昨年の開催風景

※当日クラス会等を予定される場合には教室が利用できます。
代表者の方は、名称・人数をあらかじめホームカミングデー実施事務局までご連絡ください。

■神奈川大学ホームカミングデー実施事務局
TEL.045-481-5661(代)

2011年 夏合宿一覧

団体名	期間	場所
アーチェリー部	8月15日~22日	長野県飯山市戸狩温泉わらび野
合気道部	8月4日~11日	長野県北安曇郡白馬村大字神城飯森 山八旅館
アメリカンフットボール部	8月11日~15日	山梨県 きくすい
硬式庭球部	8月21日~24日	レイクヴィラ東山(山梨県山中湖村)
サッカー部	8月8日~11日	群馬県戸根村 ホワイトロッジ
柔道部	8月19日~23日	横浜キャンパス27号館合宿所
スケート部アイスホッケー部門	9月5日~21日	北海道苫小牧市
スケート部スピード部門	8月14日~18日 8月25日~29日 9月15日~19日	長野県野辺山
軟式野球部	8月22日~26日	山梨県 十枚壮温泉
男子バスケットボール部	8月4日~16日	北海道稚内市
女子バレーボール部	8月24日~27日	新潟県上越市 柿崎ドーム
ヨット部	8月5日~10月中旬	江ノ島、逗子(合宿所未定)
ラグビーフットボール部	8月23日~28日	長野県上田市菅平高原1232-4 「山本館」
男子ラクロス部	8月7日~12日	大田館(山梨県山中湖)
女子ラクロス部	8月5日~10日	山梨県南都留郡山中湖村平野 向山ロッジ
陸上競技部(駅伝ブロック)	8月2日~7日 8月13日~24日 8月14日~25日 9月5日~14日	霧ヶ峰高原 富士見高原研修所 富士見高原 ジュネス 霧ヶ峰高原
陸上競技部(中距離ブロック)	8月15日~20日	富士見高原
陸上競技部(短距離ブロック)	8月3日~8日 9月2日~4日	菅平高原 湘南ひらつかキャンパス
管弦楽団	8月30日~9月4日	長野県下高井郡山ノ内町志賀高原発鳴温泉「スイスイ」
GLOBAL☆YEN☆LEAP	8月27日~9月1日	ロッジ丘(新潟県)
混声合唱団 クールアンジェ	8月26日~28日	山梨県山中湖 「グループインほりのや」
サイクリング愛好会	8月7日~11日	栃木県日光市
茶道研究部	9月2日~5日	静岡県 石田旅館
写真研究部	8月3日~5日	山梨県河口湖 「サニービレッジ」
神大フェスタ実行委員会	9月1日~3日	山梨県北杜市「伊予ロッジ」
鉄道研究部	8月27日28日	広島市電
美術研究部	9月2日~4日	新潟県越後湯沢ヴィラ・パーサー
舞踏研究部	8月26日~31日	至誠荘(山梨県南都留郡山中湖村平野1811)
文藝部	8月22日~24日	静岡県賀茂郡東伊豆町稲取ペンションマスカレード
フォークス	9月7日~9日	山梨県河口湖 かねふじ
ポピュラー音楽部	8月21日~23日	長野県北志賀高原
マンドリンアンサンブル	9月2日~6日	千葉県岩井町
ロスガトス	8月4日~9日	千葉県館山市
英語研究部(E.S.S)	8月3日~8日	群馬県 老神温泉
私法研究部	9月4日~6日	群馬県 尾瀬「梅田屋」
横浜蒼碧法律会(蒼法会)	9月5日~7日	群馬県草津 ホテル中沢ヴィレッジ

活躍する
神・大・生



齋藤 仁美

人間科学部人間科学科3年
神奈川県立麻溝台高校出身

【主な成績】

- 2011年
全日本選抜ショートトラック選手権大会 総合優勝
- 2010年~2011年
ワールドカップショートトラック出場
- 2010年
アジアショートトラック選手権大会 500m 3位、1500m 3位、2000mリレー 2位
- 2010年
全日本ショートトラック距離別選手権大会 1500m 3位
- 2009年
東日本ショートトラック選手権大会 総合優勝



入江 泰久

経営学部国際経営学科4年
栃木県立宇都宮商業高校出身

【主な成績】

- 2011年
明治杯全日本選抜レスリング選手権大会
フリースタイル96kg級 準優勝
- 2010年
全日本大学グレコローマンスタイル選手権大会・グレコローマンスタイル120kg級 準優勝
- 2010年
天皇杯全日本レスリング選手権大会
フリースタイル96kg級 ベスト8